

本日は「きまぐれな鮎亭」のスペースにお立ち寄りいただきましてありがとうございます。  
今回は特に記事となる情報があるわけではないので、今回発行した「気紛れな鮎亭ガイドブック」の制作意図と今後の野望（無謀ともいうかも）について少しここで語りたと思います。

「気紛れな鮎亭ガイドブック」とは当サークル（きまぐれな鮎亭）のInternet上のHomePageを宣伝するという「卵が先か 鶏が先か」的な本です。

ではなぜこんな本を作ったかと言いますと、「今まで食べ歩いてきた餃子屋さんに配布しお店の情報をHomePageに載せる許可をもらおう」「これから食べ歩く度に『餃子の本をつくってHomePageで紹介したいんです』といいながらこれを配っていきこう」という野望によるものです。

なぜそんな事をするのか？それはこんな考えを持っているからです。実際「どこそこの雑誌の記事に載っていたから」といって一回だけその店を食べ歩く人は多いと思います。そしてこんな本を作成している私も往々にしてそういう客になってしまいます。そういう一見さんがお客さんの全体からみてごく少数ならばそんなに問題にはしませんが、一見さんがくるために一時店が混乱するほど客がきて常連が離れていってしまうケースも考えられます。

この場合、一体誰を責めたらいいのでしょうか？雑誌？それとも一見の客？それとも常連さん？そしてそれ以外にも様々な理由でそういう大規模な取材を拒否する店はあると思います。同人誌という形で「餃子本」を発行する分にはせいぜい1種類あたり300部を越えませんが、部数が（雑誌等と比較して）はるかに少ないため今までは取材をごく私的に行っていました。しかし、このたび「気紛れな鮎亭」として餃子のHomePageを設置しようと考えた所、今度参照する人数は同人

誌で発刊するような少人数ではないかもしれないという不安が生まれました。（実際にはSearchEngineにひっかかるようにしないとかなかなか見にはこないんですが：笑）だからと言って「餃子のおいしい店」の情報をヌキにして餃子を語ることはできません。そこでおいしい餃子の店の方々にも分かりやすく説明をして、「ぜひ情報を載せさせて下さい」という冊子が必要になってきたのです。そういう経緯で生まれた本なので、従来の「餃子本」とは制作コンセプトが異なる本になったはずで...

...でも、何故か餃子大王以下数名のノリはいつもどおりです。なんででしょうねー？

そんなコンセプトの本でも今までの餃子本の読者の皆様や、初めてこの本を手にとった人に「鮎亭ってこんなノリ」がわかっていただければ幸いです。それでは次の野望コーナーです。いつもインフォメーションとか言って将来の予測をしていますが、ここ何回かすっぱり外れていますので（汗）「野望」ということで一塊にしてみまじょうかと。まず大胆に「餃子本5」の発行日。やはり98年の夏以前にしたいです。鮎亭も5周年を迎えたワケだし（げ）。特に最近発刊ペース落ちてるのでそれだけはやりたいなあという、最低限の野望です。次なる野望は「餃子CD-ROM」の作成。一体誰がほしがるんでしょうか？（笑）

内容は餃子の写真、餃子屋さんの写真、餃子を計っている写真等の餃子メインにしようかと思えます。ただしそんなCD-ROMがほしいという人がいれば、ですが。個人的なライブラリとして今まで取った写真の整理を行うと思うのでその余波をCD-ROMに持ってこよう。そして最近旅をしていないので旅先の餃子を食べる！そして蘊蓄る！そうして野望とネタだけはいっぱい蓄積してゆくのでした...。うーむ。

